

西口再開発を 地域発展の発端に

伊藤 彰 議員
(未来フォーラム)

◆狭山市駅西口再開発と周辺地区の活性化について

以下の点の検討をお願いします。

- ① 現駅前通りの安全性確保
- ② 商店街バス路線の確保
- ③ 西武鉄道との協力要請
- ④ まちづくり機構の設立着手
- ⑤ 市民広場の夜間通行の安全確保
- ⑥ 再開発区域内に交番の誘致
- ⑦ 魅力づくりに著名人の手形タイトル
- ⑧ 狭山坂に簡易店舗街を建設

まちづくり推進部長 ①②地元商店街等の意見も聞きながら進めていく。

市長 ③再開発区域の街開きに合わせ、事業完了に向け協議を進めている。
④1街区の街開きまでに、立ち上げ、コーディネート活動を実現していく。
⑤巡回警備や防犯カメラの設置等を考えている。⑥警察と協議した結果、現在の交番を活用する予定である。⑦⑧市民広場の魅力づくり、活用方法等を市民参画によって検討していく。

◆市内情報化と西口サテライトスタジオ
再開発を契機に全市を情報化し再開発区域内にサテライトスタジオを造つ



西口回遊性を考える10のプラン

てはどうか。実現のため以下の検討を。

- ① 情報化基本計画の策定を
 - ② 広報情報部(仮称)の設置
 - ③ 市内情報化に民間組織の設立
- 市長** ①時代に即した計画の策定を進めていきたい。②全庁的な調整の中で検討していく。③総合通信情報ネットワークシステムの研究を進めていく。

◆入間川右岸の整備
①入間川の自然環境とまちの魅力づくりに流域で取り組みましょう。
②右岸を整備し、まちと川を結ぼう。国土交通省の調査で入間川は関東で2番目に奇麗な川となりました。この魅力をまちづくりに生かしましょう。

市長 ①自然環境等に配慮しつつ、更なる水質浄化に向け、流域4市と連携し取り組んでいく。
建設部長 ②自然環境に配慮した連続性のある散策路等の整備に努めていく。

一 般 質 問

市内踏切の 歩道整備について

手島 秀美 議員
(未来フォーラム)

◆新狭山駅西側の踏切は、近くに商店街やマンションがあることから、人と車の往来が激しい。歩行者のグリーンベルトは設置されているが、幅が狭いため車が通過するまで自転車やベビーカーなどは待っている状況にある。また、駅東側の踏切でも歩道の区画線が狭く、トラックの交通量も多いことから危険な状況にある。歩行者が安心して渡れる踏切にするため、早急に改善が必要である。



新狭山駅西側の踏切

建設部長 新狭山駅西側の踏切については、昭和62年に幅員6mに拡幅して

おり、更なる拡幅は現状では難しい。また、東側の踏切については、踏切内の歩道拡幅の可能性を鉄道事業関係者等と引き続き協議していく。

◆市内出張所の業務拡充について

出張所の取り扱業務は、住民票写しの交付や、証明書の交付など限られたものしかできない。高度情報化社会において、市民がその事を生活の中で享受できることが必要である。今後ますます進む高齢社会に対応していくためにも、地域の身近な所で本庁と同様の手続きができるようにすべきである。

市長 市の行政手続きを身近な出張所で行えることは、高齢者を始め市民の利便性が一層向上すると認識している。現在、出張所等の在り方を協議している中で、出張所業務の拡大についても検討を進めているところである。

◆入間柏原線の進捗状況について

入間柏原線は柏原ニュータウン通りを抜けたあと、県道鯨井狭山線へとつながっている。鯨井狭山線の柏原小入口交差点から昭代橋西交差点までの1・5km区間は道路幅員が狭く交通量も多い。歩行者の安全確保のために、柏原ニュータウンから昭代橋までの整備が必要と思うが、事業の進捗状況は、**市長** 入間柏原線は県が平成9年から用地取得に着手したが、個人の土地の境界決定作業が進まず、約47%の取得状況で事業が中断している。今後とも、県道路整備計画の優先路線に位置づけられるよう粘り強く要請していく。

地球温暖化ストップへ

吉池 美耶子 議員
(未来フォーラム)

◆レジ袋削減

改正容器包装リサイクル法並びに地球温暖化対策地域推進計画のアクションプランにおけるレジ袋削減について、事業者との具体的な連携をとり、有料化の実験等、具体的な計画をされているのですか。従来のノーレジ袋デー啓発活動をもっと活発に行い、買い物袋持参率の実態調査を次なる施策へどう生かすのかが有効に利用してください。

環境部長 地球温暖化防止対策の一環として、行政が行うべき支援策を検討するとともに、市民団体等の協力を得ながら、レジ袋削減策を積極的に展開していく。

◆アイドリングストップ

アクシヨンプランに位置づけられているアイドリングストップの啓発活動を交通安全キャンペーンの際に行うなど、今すぐできることを地球温暖化ストップのために実行しようではありませんか。

環境部長 市内の駐車場等の実態把握をしていくとともに、市が主催する各種イベント等において啓発活動を展開していく。



◆団塊の世代の社会参加

本年、退職される方々を地域で受け入れるためには、最初の敷居を低くすることが大切です。行政、生涯学習、サークル等々あらゆる分野の活動を紹介するフェアを開催しては。

市長 地区センターを中心に、生涯学習や市民との協働による事業等への参加を促すとともに、総合的な情報提供の更なる充実を図っていききたい。

◆中心部への交通アクセス

現在の市内循環バス「茶の花号」は、毎日運行されていない、時間帯に制限がある、目的地まで時間がかかるなど、必ずしも市民の満足度は高くありません。路線バスの本数も減らされ、高齢化した地域にとっては、切実な問題です。まちづくりの一環でもある交通アクセスの今後の施策は。

市長 市内循環バスの充実を図るため、バス事業者等との協議を行い、先進地の事例も参考に研究していく。

一般質問

貧困・格差是正への対応は

内笹井 務 議員
(日本共産党)

◆市民の暮らしの現状について

市民の暮らしは、今、どういう状況にあるか。より豊かに、安心して暮らせる方向に全体として進んでいるのか。一人当たりの市民所得は、平成10年401万4000円に対し、平成14年35万4000円。一世帯当たりの年間収入では、平成6年914万6000円に対し、平成11年742万1000円。平成14年の一世帯当たりの年間収入は、埼玉県平均や埼玉県の市部平均をそれぞれ下回っている。これらに対する施策は。

市長 経済的に厳しい局面を迎えている市民が存在することは事実である。各種支援事業を実施するほか、自ら生活の糧を得られるよう、平成19年度から就労支援相談員を配置し、求人情報等の収集、提供などを行っていく。

◆貧困と格差の広がりについて

子供たちの貧困実態は、この10年間で就学援助が全国平均で約2倍以上、狭山市では小学生で約2・8倍、中学生では3倍以上になっているが、その対策は、「ワーキングプア」という言葉で、働く貧困層の広がりが大きく取

り上げられているが、狭山市は工業都市でもあり、正規雇用を増やすため、「企業立地育成条例」などが必要なのでは。

市長 就学支援など経済的支援のほか、保護者の就労支援にも努めていく。また、「働く貧困層」と言われる就業層の広がりが生じていることは認識している。国の取り組みが決定次第、関係機関と連携を図り、市内事業所等へ積極的に働きかけていく。

◆小中学校の統廃合について

小中学校の在り方は、教育にかかわる問題であると同時に、都市の在り方にもかわる問題である。もともと深く、広く議論すべきではないか。学校の統廃合計画は、児童生徒数の漸減が前提になっているが、児童生徒の減少に歯止めをかける対策を立てることが、今求められているのではないか。

市長 統廃合の地元検討組織において、地域のまちづくりの在り方を念頭に置きながら、具体的に検討していく必要があると考える。



狭山に人を

呼び込むために

大沢 えみ子 議員

(日本共産党)

◆安心して子育てのできるまち

①乳幼児医療費の窓口払いの廃止
川越市や飯能市では既に実施され、所沢市でも新年度から実施される見込みです。狭山市でも早期に実施してほしいと考えますがいかがでしょうか。

②幼稚園の充実

狭山市では残った5園の市立幼稚園を更に2園減らし、将来的に3園にしていくという方針を掲げていますが、幼稚園は拡充していくべきです。今後の幼稚園の在り方をどう考えますか。

③身近な公園の整備

またまっして新たな住宅が建設される



子供の笑顔が絶えないまちを

際には、市として「子育て支援」の観点を持ち、公園用地の確保を指導すべきと考えますがいかがですか？

④仮称「子ども課」の設置

多角的な子育て支援策を日常的に協議、議論ができるような部署を設置すべきだと思っておりますが、お考えは？

市長

①窓口払い廃止の市単独での実施は財政的に困難であり、県主体で実施するよう要望しているところである。③住宅等開発時においては、その事業区域が3000㎡以上の場合には3%以上の公園整備を指導している。④既に設置済みの子育て支援課が総合的な窓口として更に充実するよう努めていく。

教育長

②就学前の児童数や残る5園の就園状況等を踏まえて、総合的に検討していく。

◆豊かな緑を生かした観光政策

①新たな名所づくり

河川敷の桜並木をはじめ、季節ごとの花の名所や駅から入間川・智光山までのウォーキング道路の整備等、観光客を迎えられる、目玉となる名所づくりを行ってほしいのですが。

②観光マップ等の活用

市の観光地図やパンフレットなどを集めて、外に向かったアピールを検討してはいかがでしょうか。

市民部長

①狭山稲荷山公園、智光山公園の季節の花を核としたイベントなどを観光協会等と検討していく。②新たな観光ルートを設定し、それに合わせ、新たな観光マップも作成する。

一 般 質 問

狭山市駅西口整備・

医療・雇用

広森 すみ子 議員

(日本共産党)

◆狭山市駅西口開発について

①西口整備計画の見直しを求める市民の声は、市の将来と暮らしの先行きを心配している意見です。市長はどう受け止め、どう対応されますか。

②西口再開発での権利変換計画（再開発ビルへの入居）の状況は。また、住宅棟への希望状況、商業ビルに入る業種を明らかにしてください。

③狭山市駅南側の踏切の道路は一方通行ですが、拡幅して相互通行ができるようにしてほしい。

市長 ①多くの市民の賛同を得ていると理解している。平成23年度の完成を目標し、着実に推進していく。

まちづくり推進部長

②商業床91%、住宅床38%の充足率であり、業種は医療、飲食、小売系物販等である。

建設部長

③住宅等が建ち並び、相互通行にはできないが、歩道整備は図っていききたい。

◆国民健康保険の負担軽減

①来年は「後期高齢者医療制度」創設や国保税見直しが予定されていますが、「これ以上の負担は耐え切れない」というのが多くの加入者の声です。国庫



負担を元に戻すことを国に要求し、増税しないことを求めます。

②生活困窮者には国保税、医療費一部負担金の減免を適用し、命と健康に格差が生じないようにしてください。

福祉部長

①国、県に対し財政支援措置の一層の充実を要望している。②納税相談等で状況を把握し対応している。

◆雇用問題

①市内企業の雇用実態を調査し、事業所が雇用のルールを法律を厳格に運用するよう啓発すべきでは。

②現在取り組んでいる企業立地の状況は。また、企業立地奨励金の雇用促進助成金は新規雇用の場合、一人当たり30万円の助成ですが、税金を投入する以上、安定的な雇用を正規雇用につなげていくべきではないか。

市民部長

①雇用の実態把握に努め、関係機関と連携し啓発していく。

総合政策部長

既に企業6社が操業を開始している。引き続き安定的な雇用等、企業に積極的に働きかけていく。

一人一人が 温暖化防止の実践を

磯野和夫 議員
(公明党)

◆地球温暖化対策

国連の機関が発表した報告書によると、地球温暖化の原因は、人間の活動による二酸化炭素などの温室効果ガスの増加であるとはほぼ断定し、このまま温暖化が進むと、将来は破局的な事態を招くことが予測されている。市民一人一人が、本格的に温暖化防止への取り組みを始めなければならぬが、市では具体的対策のアクションプランを作成した。

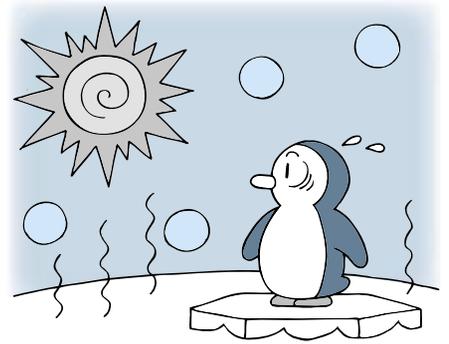
①その中で掲げられたマイカー利用の抑制の具体策は？

②車から自転車購入に対する補助金創設の実現可能性は？

③車から公共交通機関への誘導策として、茶の花号の見直し状況は？また既存路線バスへの誘導策も重要と考える。④温暖化対策を総合的につかさどる「地球温暖化対策室」の設置はどうか？

環境部長

①自動車交通対策の推進に当たっては、エコドライブの推奨と「エコライフDAYさやま」の展開を連携させ取り組んでいきたい。②市民



の動向を検証するとともに、他市の事例なども参考に研究していきたい。

市民部長

③現在、茶の花号(市内循環バス)見直しについては、庁内関係課で組織する検討委員会を設置し、協議しているところである。今後、他市の状況調査等を行い、早い時期に方向性を見いだせるよう取り組んでいく。

総合政策部長

④当面、現行組織の中で進め、機会をとらえながら組織の在り方についても検討していく。

◆小・中学校空調設備工事の促進

昨年、公明党狭山支部で署名活動を実施し、年2校の工事実施を市長に要望し、防衛補助の増額を防衛施設庁長官に直接申し入れを行ったところ、長官からは前向きな発言があったが、今後の見通しはどうか？

市長

平成19年度に設計を2校行い、平成20年度からは工事を2校行えるようになるかと考える。

一般質問

入間基地と市民生活 歩道の整備

猪股嘉直 議員
(日本共産党)

◆自・公・民の賛成多数で「防衛庁」

が「防衛省」になり、海外派兵が自衛隊の「本来任務」に。庁が省になって市民の暮らしと安全はどうなるのか？PAC3の入間基地への配備について。昨年、嘉手納基地にPAC3の配備を強行。報道では、嘉手納町長は「PAC3は米軍基地を守るため。県民を守るものではない。」と。米の国防副次官は「ミサイルが米国に向かうことが明らかで、日本がそれを撃ち落とさないのはクレージーだ。」と。仲川市長はそれでもPAC3が市民の安全を守るためのものと考ええるのか？

航空機騒音調査の結果、狭山高校、柏原幼稚園、柏原中学校等5カ所で基準値を上回る。特に一日平均騒音感知回数は、狭山高41、柏原幼稚園40、入間野中32、柏原中25。市の対処は？土日、祝日、夜間は飛ばないというが、守られていない。強く要請をすべきだ。土日、夜間の飛行回数は？把握していないければすべきだ。基地対策課のHPの基地情報不十分、内容の充実を。市長 防衛省移行による市民生活への影響はないと考える。入間基地へのP

AC3配備は、国の安全を確保する上で必要なことと考える。また、基地に起因する航空機騒音対策は国の責任で行うよう要望しているところである。

総合政策部長

土、日曜日、夜間等の飛行は必要最小限に抑えていると基地から連絡を得ている。飛行回数については、今後把握に努めていく。また、インターネットによる情報提供の在り方についても検討していく。

◆歩道が狭く、危険な所、斜めになっていて、車椅子では危険な所。これらの改善と今後の歩道づくりは？樹木が大きくなり、根によつては歩道を波立たせているが対策は。サルスベリや、ハナミズキは根が歩道を波立たせることは無い。今後の樹木の選定は？

建設部長

歩道拡幅、歩車道分離によつて、歩行者の安全確保を図っている。道路整備は市道整備計画に基づき行っていく。また、街路樹は維持管理の容易なものを基本に選定していく。



歩道に浮き立つ樹木の根